

# 平成29年3月期 (2016年度:第20期) 第1四半期決算説明会

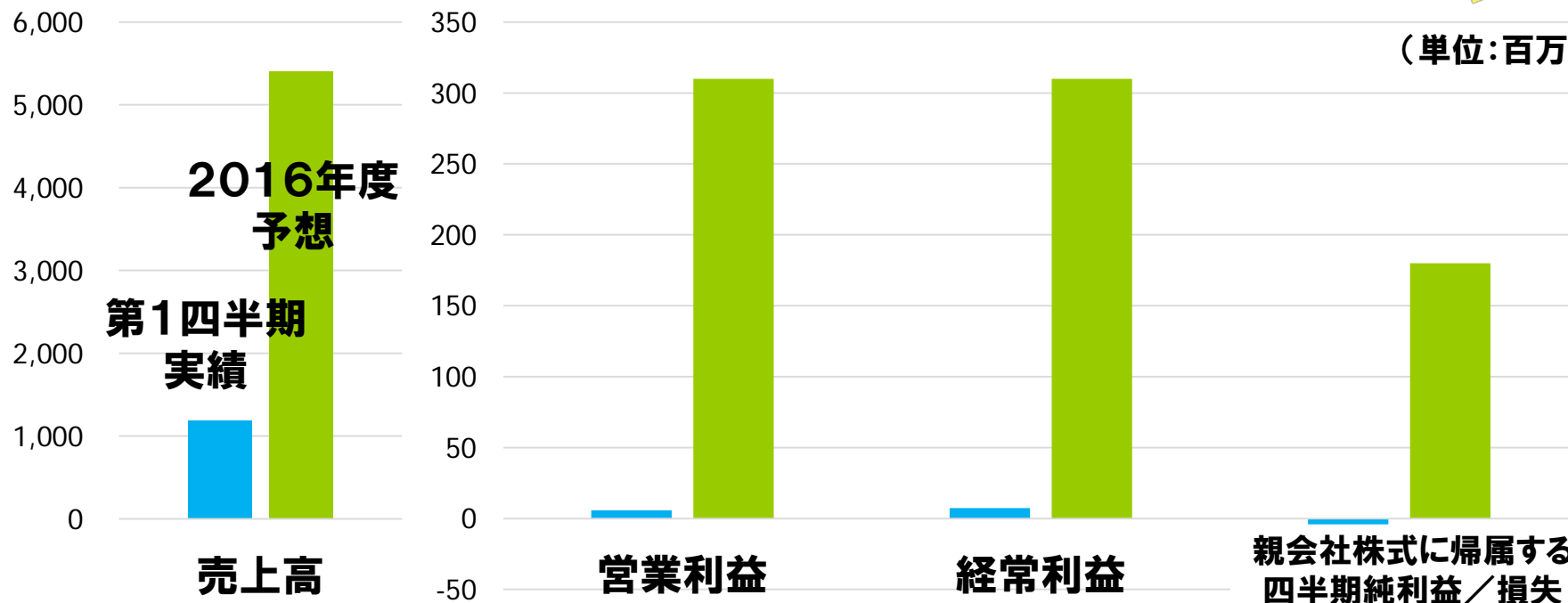
平成28年8月1日

## 株式会社Jストリーム

※当資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資などの判断を行うことは差し控えて下さい。



(単位:百万円)



	2016年度				
	1Q実績	通期予想	進捗率	前期実績	対前期増減
<b>売上高</b>	<b>1,189</b>	<b>5,400</b>	<b>22.0%</b>	<b>1,089</b>	<b>+9.2%</b>
<b>営業利益</b>	<b>5</b>	<b>310</b>	<b>1.8%</b>	<b>Δ4</b>	<b>-</b>
<b>経常利益</b>	<b>7</b>	<b>310</b>	<b>2.3%</b>	<b>Δ2</b>	<b>-</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益/純損失	<b>Δ4</b>	<b>180</b>	<b>-</b>	<b>Δ12</b>	<b>-</b>

# 四半期決算 連結損益計算書

	2016年度Q1 (構成比)		増減率	2015年度Q1(構成比)	
売上高	1,189,132	100%	9.2%	1,089,107	100%
売上原価	683,552	57.5%	5.9%	645,722	59.3%
売上総利益	505,580	42.5%	14.0%	443,384	40.7%
販売費及び一般管理費	499,793	42.0%	11.5%	448,176	41.2%
営業利益	5,787	—	—	△4,791	—
経常利益	7,354	—	—	△2,893	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益／純損失	△4,070	—	—	△12,968	—

## 受注動向

- ◆ 医療系の開拓含めほぼ全業界において売上増。単体は計画を上回る。
- ◆ 映像制作、UI子会社の売上が低調。子会社売上合計:312→300百万円

## 内的要因

- ◆ 昨年同期の営業赤字から黒転。税負担で純損失となるが縮小。
- ◆ 原価部門の人員は昨年並、外注で調整。販管部門は人員増あり経費増大。

(単位:千円)

## 連結バランスシート

		2016/6月末	主な変動要因	2015/6月末	前期末
資産の部	流動資産	3,135,361		3,056,273	3,159,101
	固定資産	1,001,204		866,614	971,691
	有形固定資産	316,057		318,417	311,399
	無形固定資産	538,185		401,506	511,642
	投資その他の資産	146,961		146,691	148,648
資産合計		4,136,566	営業権 +81M ソフトウェア +63M	3,922,888	4,130,793
負債の部	流動負債	566,147		545,843	559,104
	固定負債	114,474		122,150	109,645
純資産の部	資本金	2,182,379		2,182,379	2,182,379
	資本剰余金	626,241		626,241	626,241
	利益剰余金	882,935		693,502	887,005
	自己株式	△459,182		△459,182	△459,182
	評価・換算差額等	222		976	321
	非支配株主持分	223,348		210,976	225,278
	純資産合計	3,455,944		3,254,893	3,462,043
負債・純資産合計		4,136,566		3,922,888	4,130,793

◆前年同期比、M&Aと事業譲受に伴い営業権が、サービス開発に伴いソフトウェアが増加

# 売上原価(連結)主要項目



**人的費用の合計**  
(労務費+外注費等)  
**604百万円**  
(前年度:556 +8.6%)

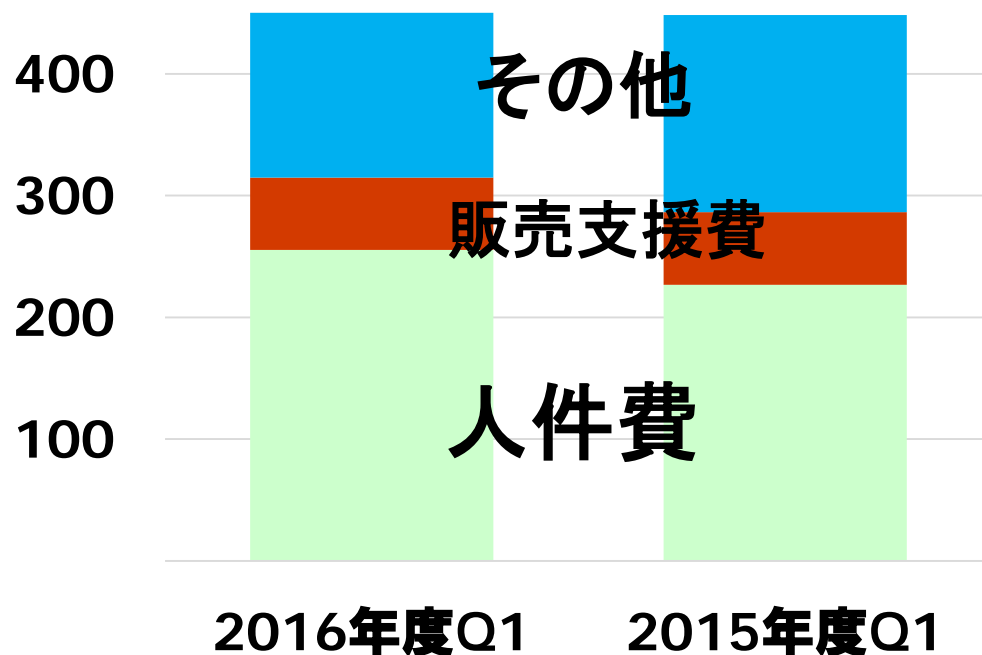
連結従業員数 345名(336名)  
個別従業員数 234名(222名)  
(子会社出向者除) ※( )前年度

2016年度Q1      2015年度Q1      (単位:百万円)

	2016年度Q1 構成比		増減率	2015年度Q1 構成比	
労務費	336	49.2%	△3.0%	346	53.7%
外注費等	268	39.3%	+27.3%	209	32.5%
通信費	56	8.2%	0.3%	56	8.7%
各種償却費	52	7.6%	+9.6%	47	7.4%
その他振替等	△29	—	—	△14	—
<b>売上原価合計</b>	<b>683</b>		<b>5.9%</b>	<b>645</b>	

- ◆制作系連結子会社が人員減。配信系事業譲受、買収による増加と合わせて連結での原価部門人員数は前年と変わらず。
- ◆案件増に伴い外注費増加

# 販売費及び一般管理費(連結)主要項目

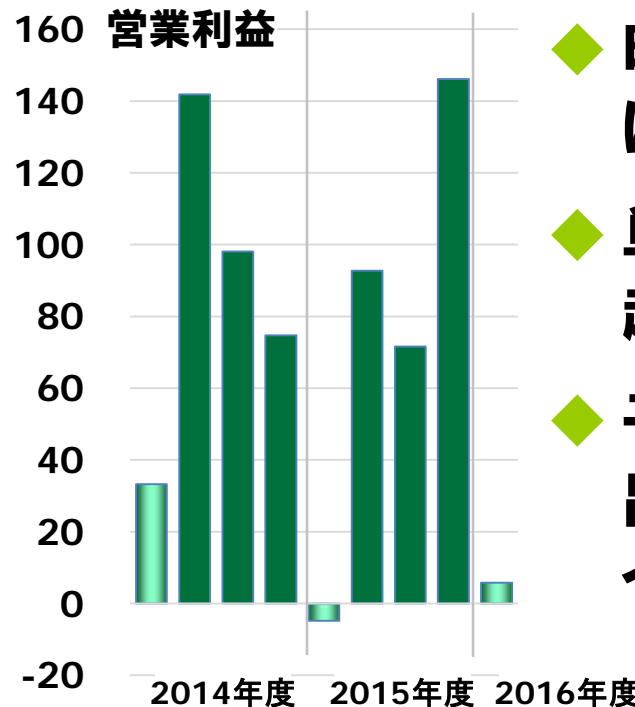
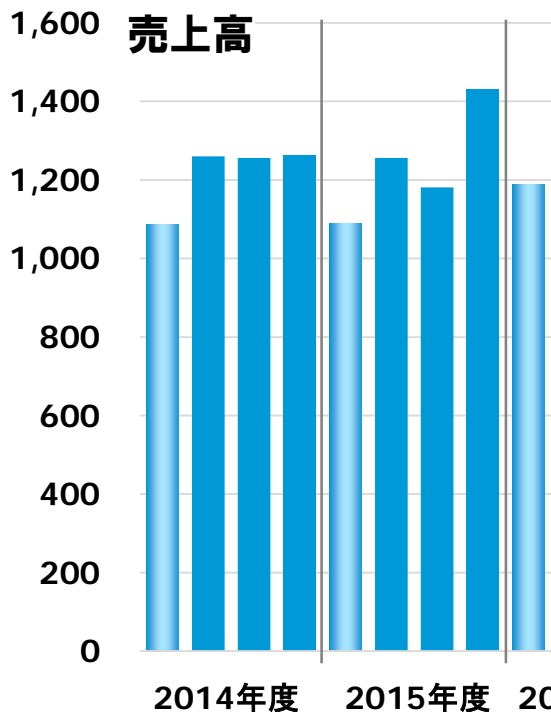


- ◆ 営業、管理部門増員に伴い人件費増の影響が大きい
- ◆ 成約が進み販売支援費は前期並みの水準に留められた
- ◆ 増床による家賃増以外その他の項目に大きな変動はない。

(単位:百万円)

	2016年度Q1 構成比		増減率	2015年度Q1 構成比	
人件費	255	51.1%	+12.6%	226	50.6%
販売支援費	59	11.9%	△0.5%	59	13.3%
その他	184	37.0%	+14.4%	161	36.1%
<b>販管費合計</b>	<b>499</b>		<b>+11.5%</b>	<b>448</b>	

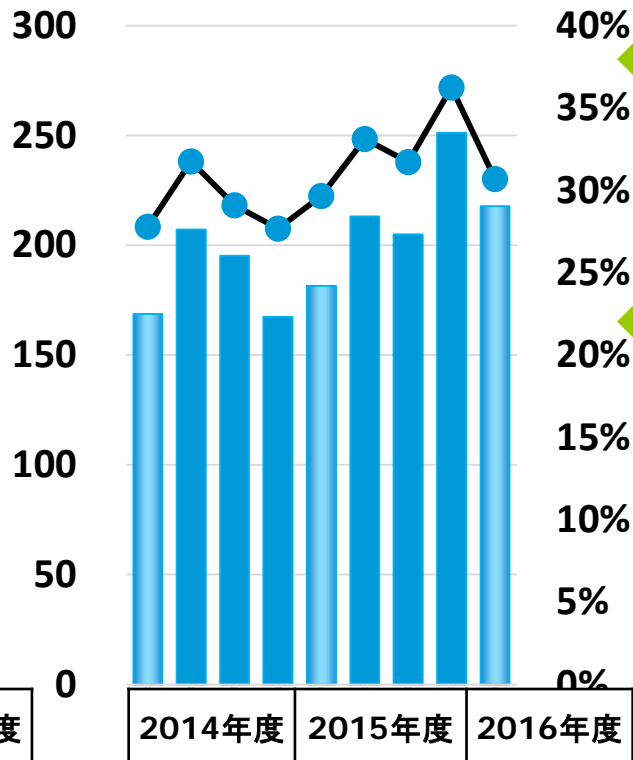
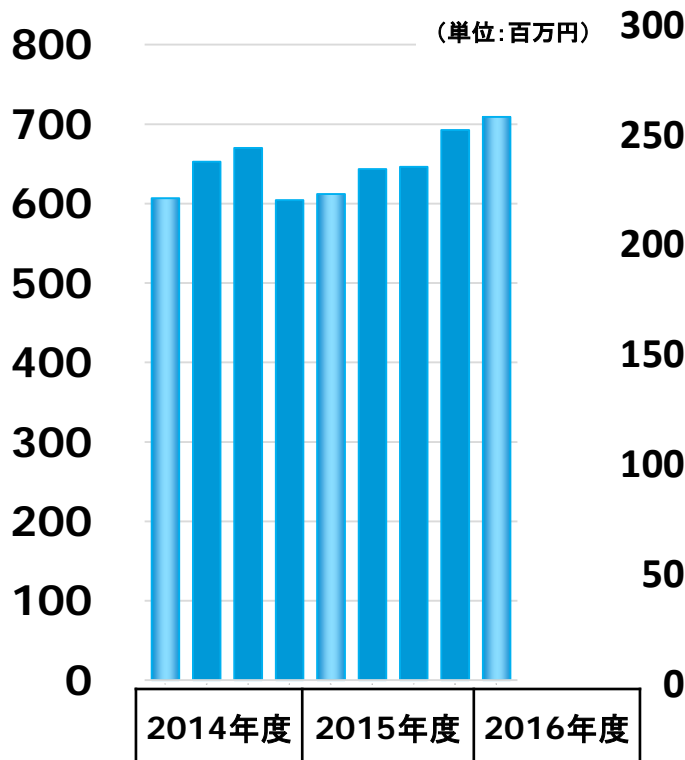
# 四半期別売上、利益推移（連結） （単位：百万円）



- ◆ 昨年、一昨年対比  
ほぼ1億円程度増収。
- ◆ 単体で10億円を  
超えており順調。
- ◆ 子会社の販売に  
出遅れ感あり。2Qは  
イベント等材料あり。

	2014年度Q1-Q4				2015年度Q1-Q4				2016年度Q1
売上高	1,086	1,260	1,256	1,262	1,089	1,255	1,180	1,429	1,189
営業利益	33	142	98	75	△4	92	71	146	5
純利益	28	133	74	51	△12	58	44	90	△4
売上高	2,346		2,518		2,345		2,610		
営業利益	175		173		87		217		
純利益	80		273		45		134		

# セグメント売上・営業利益状況：配信事業



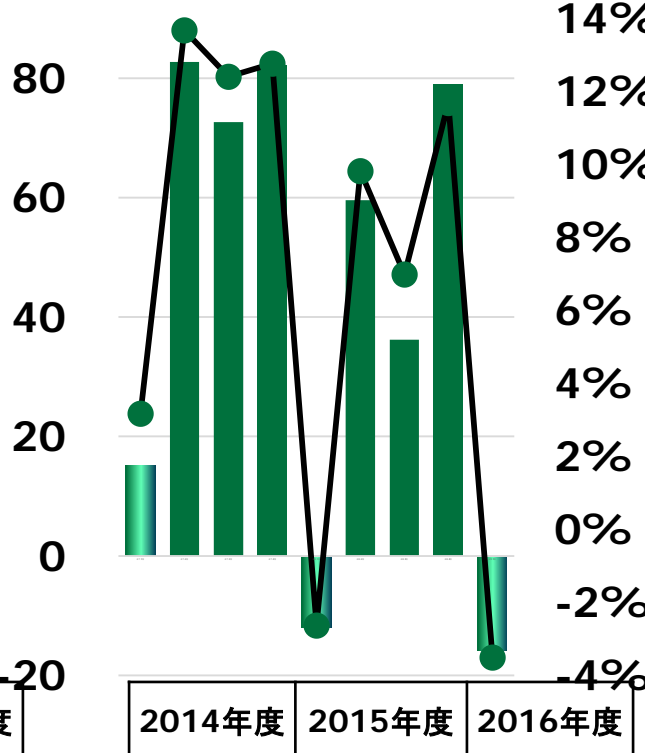
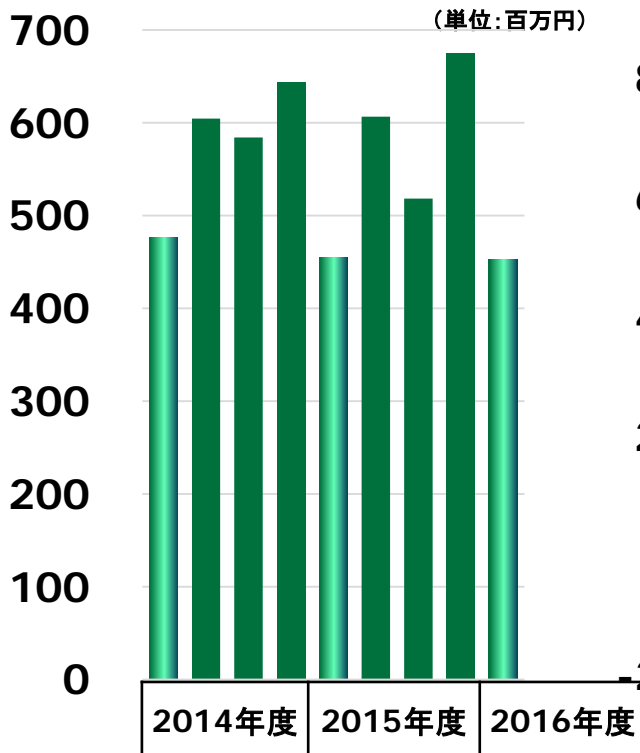
◆ 医薬系を中心にライブ配信の受注が復調。イベント受注もあり。

◆ オンデマンド配信もEquipmedia中心に案件積み上げ。M&Aによる配信顧客獲得もプラス要因。

	2014年度Q1-Q4				2015年度Q1-Q4				2016年度Q1
売上	606	652	670	604	612	643	646	692	709
営業利益	168	207	195	167	181	213	205	251	217
利益率	27.8%	31.7%	29.1%	27.7%	29.6%	33.1%	31.7%	36.2%	30.6%
半期	1,259		1,274		1,255		1,338		
通期	2,534				2,594				



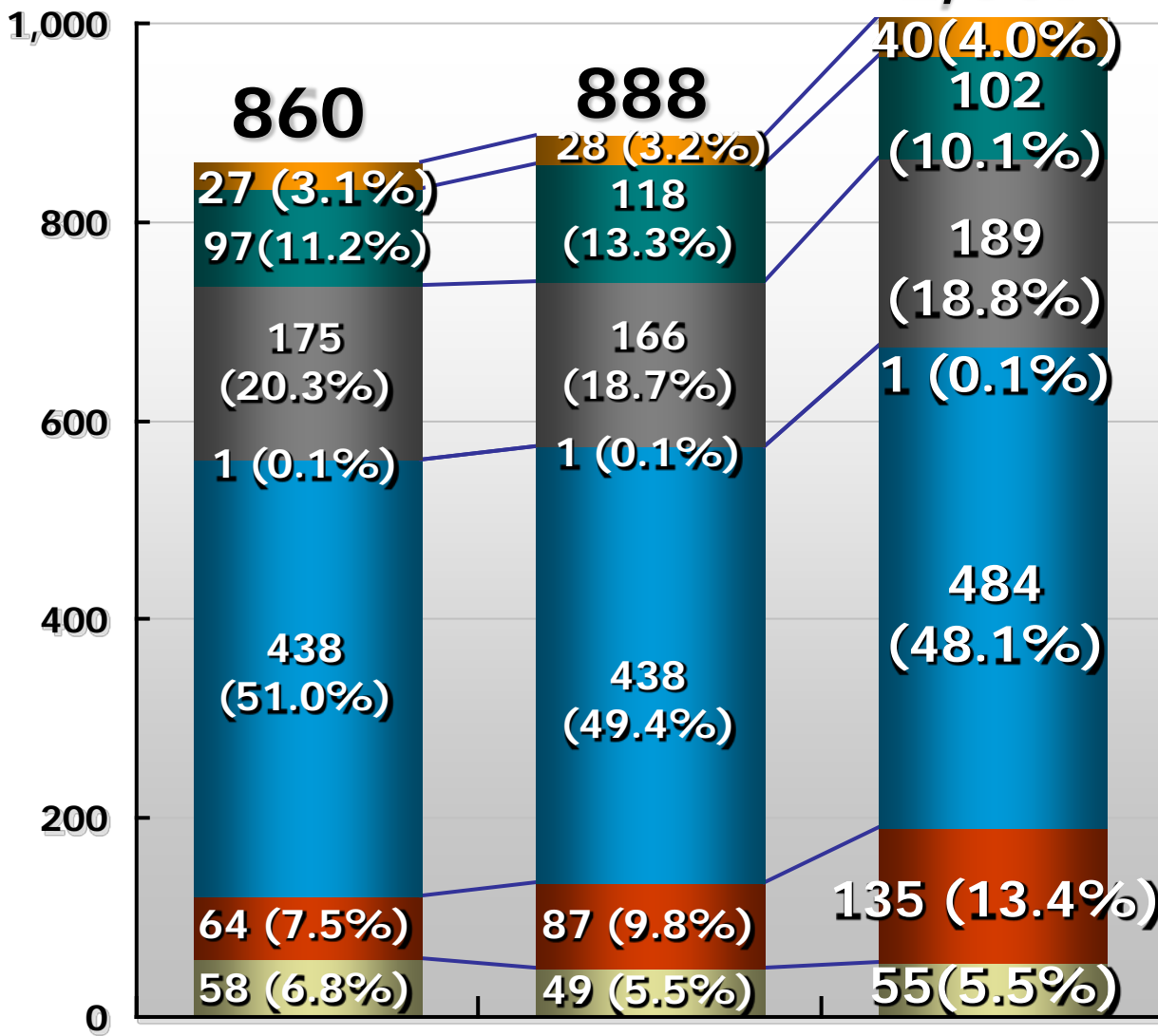
# セグメント売上・営業利益状況：制作・システム開発事業



- ◆ 14% 製薬プロモーション需要増に伴う映像及び配信関連の受注及びブランドサイトの受託制作により増加。
- ◆ 映像制作子会社、UI開発子会社の大口顧客からの受注減により前期比マイナス。

	2014年度Q1-Q4				2015年度Q1-Q4				2016年度Q1
売上	477	604	584	643	455	606	518	675	452
営業利益	15	82	72	82	△11	59	36	78	△15
利益率	3.2%	13.6%	12.4%	12.8%	△2.6%	9.8%	7.0%	11.7%	△3.5%
半期	1,081		1,228		1,062		1,193		
通期	2,310				2,255				

# 用途別売上比率（個別）



(単位:百万円)

## 増減率

- その他 +39.0%
- エンターテインメント  
(音楽/映画/娯楽/  
スポーツ)  $\Delta$ 13.3%
- 番組/放送局 +14.0%
- ストリーミング広告 +87.3%
- 販促(商品紹介/CM/  
セミナー/イベント) +10.6%
- 採用/教育/研修 +55.4%
- 会社案内/IR +12.1%

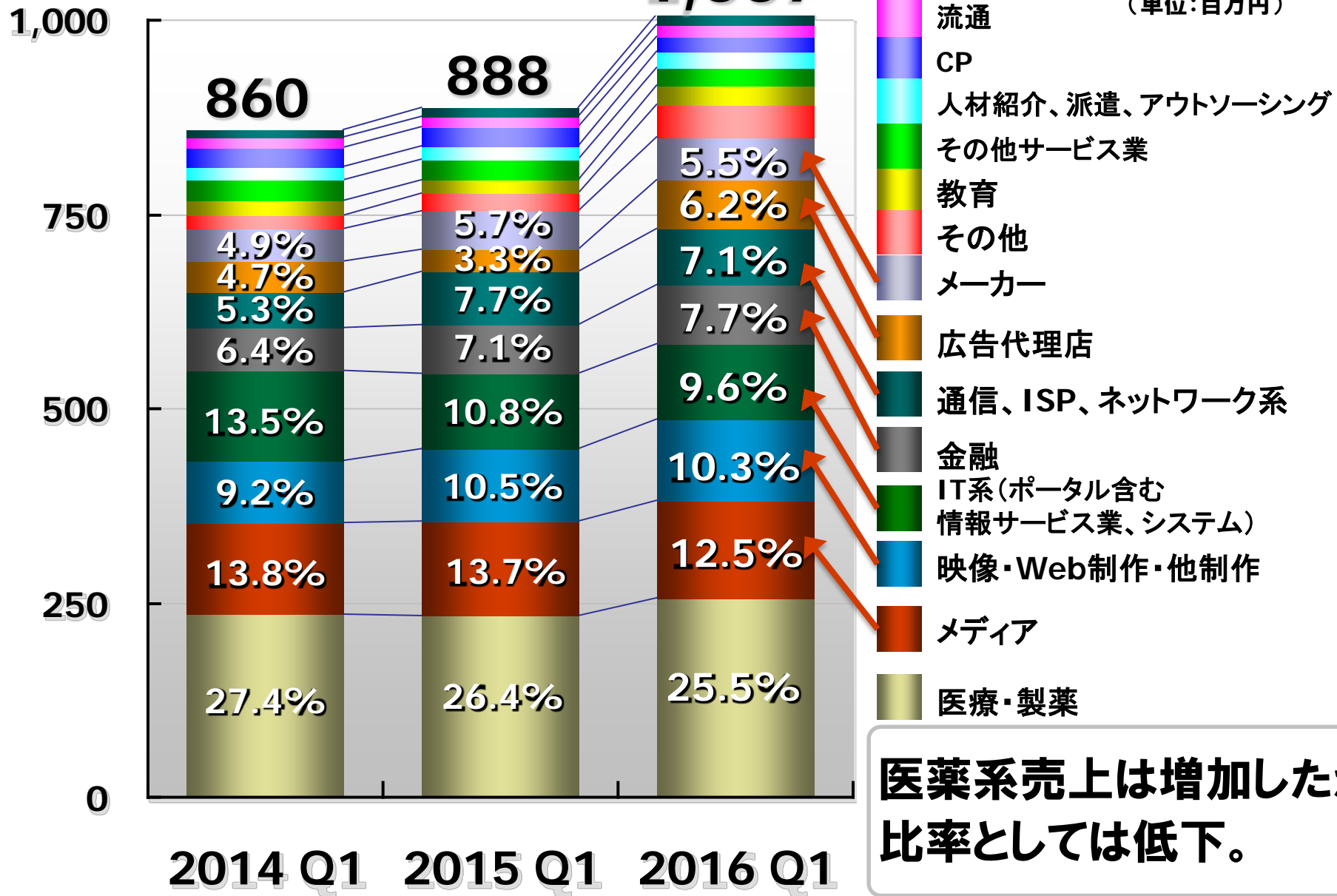
2014 Q1

2015 Q1

2016 Q1

(単位:百万円)

# 業種別売上比率 (個別)



**医薬系売上は増加したが比率としては低下。**

# 設備投資状況(連結)

	投資項目	実施額 (年間予定額)
2016 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>配信事業関連</b></li> <li>    ネットワーク ハードウェア (24)</li> <li>    Equipmedia、CDN、     広告系等サービス関連ソフトウェア(59)</li> <li>    営業権等 (86)</li> <li>■ <b>制作・システム開発事業関連</b></li> <li>    映像処理関連機器更新、増強 (2)</li> <li>■ <b>その他(管理系含む)</b></li> <li>    業務管理、会計管理システム等 (4)</li> </ul>	<p style="font-size: 2em; text-align: center;">175</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">(430)</p>

# 最近のトピックス

もっと素敵な伝え方を。



# DDoS防御/WAF統合型セキュリティCDN サービス「Incapsula」を販売開始

- ◆ WAFのリーディングカンパニーImperva社が提供するクラウドWAF（Web Application Firewall）
- ◆ 大規模DDoS攻撃にも耐えうるネットワークを手頃な価格、簡単なDNSの設定のみで利用可能

- ◆ 手頃な価格、民生用カメラで360度動画の体験
- ◆ 業務用機器を用いてHD品質でハイクオリティの全天球動画を制作

360度動画はデータが大きくなりがちであるが、ライブ／オンデマンド配信に際してはJストリームの動画配信インフラを利用することで安定した視聴環境を構築

# 自社ウェブサイトリニューアルを実施



コーポレートカラーはそのままに、スマートフォンやタブレットでの利用に適したレスポンス対応サイトに変更。

マーケティング・採用等施策に利用しやすい仕組みを実装。



# 2016年度 今後の方針

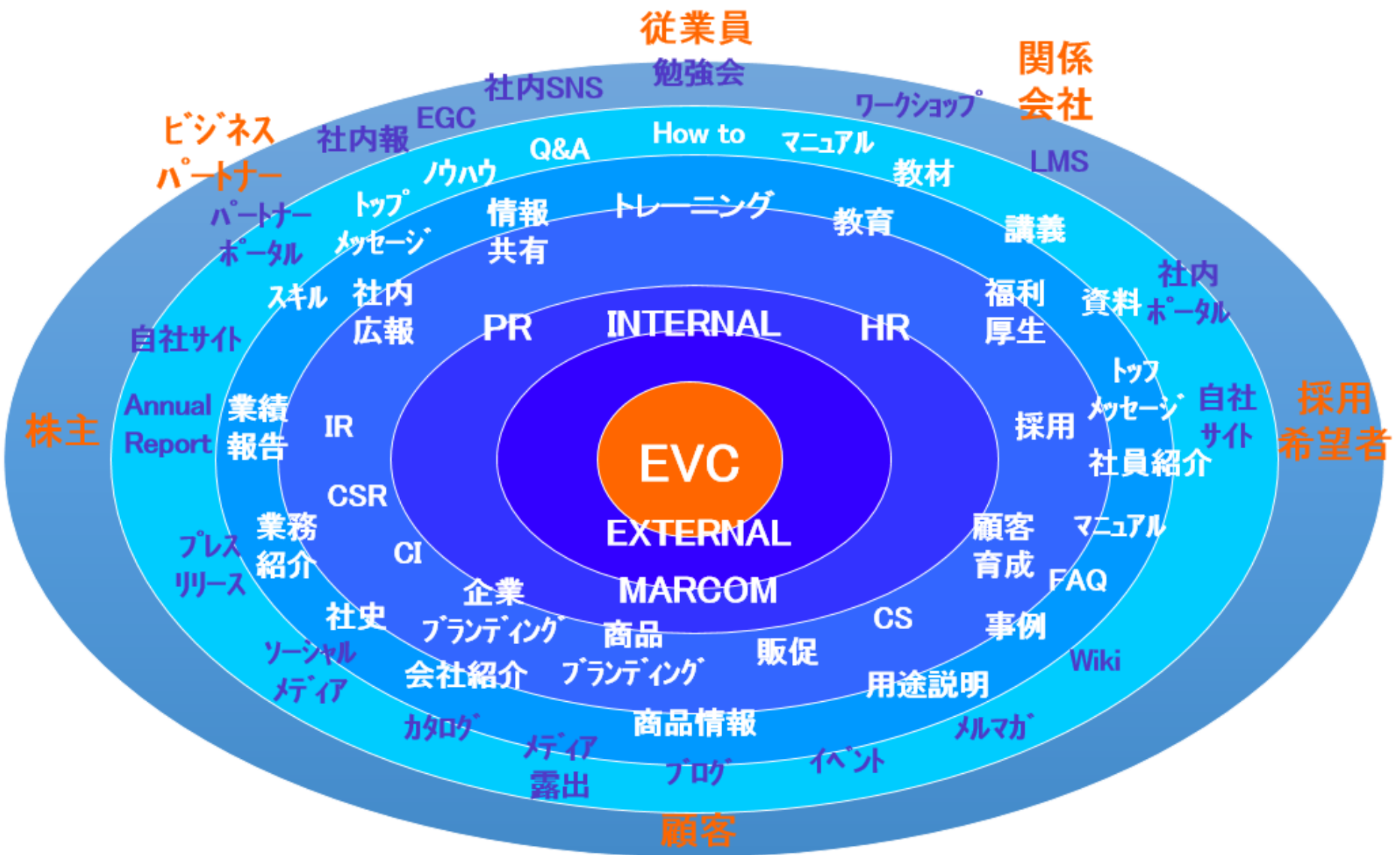
## 経営方針

**基盤を活かしてさらに成長する**

**最先端の動画ソリューション提供会社で  
あり続け、あらゆる動画ニーズに  
応えられるエコシステムを創造する  
ことにより、事業の継続的成長を実現**

# Enterprise Video Communications

## 今後益々広がる動画コミュニケーション



## 営業重点戦略

- ◆ **プロダクト営業**: Equipmedia新規顧客の開拓続けつつCDNext等より単価の高い長期案件獲得に注力する
- ◆ **ソリューション営業**: 従来の医療、金融系顧客の深耕に加えて、**企業内コミュニケーション利用(EVC: Enterprise Video Communications)**促進に取り組む

## 配信: 自社配信プラットフォーム強化とパートナー連携を推進

- ◆ Equipmedia、CDNextを軸に継続的サービスメニュー強化
- ◆ 各種営業支援システム(SFA)、ラーニングマネジメントシステム(LMS)等との連携や、IDC、ISP等とのパートナーシップ等、エコシステムを構築し顧客基盤拡充

# 2016年度(第20期)経営方針・事業戦略

## 制作:コンテンツ企画制作開発力の向上と 制作プラットフォーム化推進

- ◆ 企画～制作～システム開発の総合力を高め、  
トータルソリューションを通じて顧客の成果に貢献
- ◆ 映像制作支援、企業の社内コミュニケーション領域等での  
顧客ニーズを捉え、制作のサービス化を加速させる

## 広告領域の開拓の継続

- ◆ 動画アドネットワークをスピーディに確立、コンテンツ  
マーケティングを実践、サイネージ動画広告への取り組み

## 新規事業開拓

- ◆ 新規事業開発専任部隊の設置により、動画周辺新規  
事業の開拓やM&A等による成長力の拡大を図る

# 業績予想値 ~変更なし

	平成2016年度		
	1Q実績	通期予想	進捗率
売上高	1,189	5,400	22.0%
営業利益	5	310	1.8%
経常利益	7	310	2.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益／純損失	△4	180	－%

# 説明内容についてのお問合せ先

## 決算説明内容についてのお問い合わせは

### 【メール】

[https://page.stream.co.jp/pr\\_inquiry.html](https://page.stream.co.jp/pr_inquiry.html)  
(お問い合わせフォーム)

### 【電話】

電話 03-5765-7744 (総務部広報IR課)

へお寄せください。